

### 「夏休み家族現場見学会」を開催（2017年8月3日）

東京都大田区にある技術研究所に、2歳から14歳までの当社グループ従業員の子供とその家族、総勢48名が集まりました。参加者は会社の概要説明を受けた後、グループに分かれて研究所施設を見学したあと、貸切バスで都内の工事現場へ向かいました。

「はたらく機械エリア」では、アスファルトフィニッシャーやモーターグレーダーなど施工機械の展示や記念撮影、

コンクリート舗装面は「らくがきエリア」となり、子供たちはチョークで思い思いの絵を描きました。

研究施設や大型現場、そして「はたらくお父さん」など普段見ることができない姿を間近に見て、私たち従業員にとって身近なステークホルダーである「従業員の家族」にも本業を通じた社会貢献の取り組みを理解してもらえたと思います。



模型を使った透水性舗装の実験



コンクリート舗装の上で自由に落書き



#### 参加者の感想

午前中はいろんな実験をして道路のことを教えてもらいました。午後は道路工事をしている現場を見ました。そのあとスイカ割りやザリガニ釣りをして楽しかったです。

雨の時にできる水たまりを吸い込んでくれる道路や高い温度や低い温度に耐えられる道路など一言に道路といってもいろいろな道路があるんだなとこの会を通して思いました。  
(小学4年生)

### 森林ボランティア「協働の森づくり事業」(2017年10月20~21日)

高知県梶原町の仲間(なかいだ)地区にある「日本道路の森」で、間伐体験交流会を開催しました。本社・中国支店・グループ会社のエヌディーリース・システム(株)から31名(うち新入社員10名)が参加しました。この交流活動は今年で8回目となります。平成20年度に高知県と梶原町が進める「環境先進企業との協働の森づくり事業」のパートナーズ協定締結以降、新入社員を含む当社グルー

プ社員が間伐体験を行い、地域との交流を深めています。

当日はあいにくの雨模様で「日本道路の森」での間伐体験はできませんでしたが、高知県伝統の三椏(みつまた)・楮(こうぞ)を使った地元の和紙作家ロギール・アウテンボーガルト氏から説明を受けながら、参加者全員で和紙のレリーフを作りました。この紙漉き体験を通じて伝統文化の保護・継承について学ぶことができました。



「協働の森づくり事業」において直近5年の間伐実施面積12.52haでCO<sub>2</sub>吸収量が89.27t-CO<sub>2</sub>となり、高知県より「CO<sub>2</sub>吸収証書」が発行されました。

